

# 看護ゼミにゅーす 11月号

2014年11月21日看護ゼミ報告 (11/25ゼミ委員会発行)

## 演題「不安が強い親への関わりから学んだこと」 3階 戸石さん



子どもの入院に際し、多くの親は不安になります。小児看護においては患児や疾患への対応だけでなく、家族の不安を軽減する関わりが大切であることを改めて学んだ症例でした。1歳8か月、痙攣重積。母親の思いを聴いていく中で、医療者の説明を十分理解されていなかったと気づきました。また、点滴の固定や検温の時間などに対する要求や希望に、チームで統一して対応し、信頼関係を築くことができました。流山市内で小児科入院の受け入れができるのは当院のみ。重症患児も増えていると聞きます。大変ですが、がんばって！

## 報告「楽しい看護活動」 4東 水口師長

今年度4東病棟で行った看護実践を、たくさんの写真で紹介してくれました。4東の広いベランダを使って「青空ランチ」。職員も一緒にお弁当を広げ、とても楽しそうです。退院後訪問では、脱臼を繰り返す患者さんのお宅へ。低い位置にある小さな冷蔵庫からお酒を取り出すためしゃがむことが脱臼を繰り返す原因だとわかりました。院内保育室訪問では普段は無表情な患者さんが笑顔を見せ、子どもに手を差し出します。このほか野球観戦、オペラ鑑賞会など。4東スタッフの感想文には「患者さんの笑顔や変化が、私たちの看護の力になっています」と書かれていました。今後も看護活動の発信、楽しみにしています。



## 学習「医療安全 ～チームステップス～」

### 医療安全管理者 岡田さん

チームステップス (Team STEPS) は米国で開発されたチームワークをトレーニングするツールです。今回同じ症例を取り上げた2つのムービーを見ました。1つ目は良くない対応、2つ目が良い対応です。その違いは?? 「口頭指示を復唱している」「他に質問はありますか?と聞き返す」「患者さんに注意する症状を言ってもらおう」「他のスタッフにも説明し、情報共有している」など。映像だけでなくポイントの解説があり、わかりやすくなっていました。丁寧なコミュニケーションで医療事故を減らすことができる、とわかる講義でした。



**参加者は45名** 今回は小児看護ときらりと輝く看護実践、医療安全ともりだくさんの内容でした。参加された方、いかがでしたか? ゼミに参加していつもより元気になってくれたら嬉しいです。**次回の看護ゼミは12月19日(金)17~18時。演題発表は“4東”と“4西”、学習は“病院機能評価について”です。みなさんの参加お待ちしております!**